

兵庫県ワシントン州事務所 Hyogo Business & Cultural Center

オレゴン州の日系スーパーで兵庫県産食品をアピール

米国市場への兵庫県企業の進出支援として、兵庫県ワシントン州事務所と神戸シアトルビジネスオフィスの共催で、オレゴン州にある宇和島屋ビーバートン店において「ひょうご神戸フェア」を開催しました。

(1) 宇和島屋について

宇和島屋は米国北西部最大の日系スーパーマーケットで、シアトルを本店にベルビュー、レントン、ビーバートンの4店舗を展開（他に小規模店としてKai Marketをシアトルに出店）。アジア系食材や菓子、酒類など食料品を中心に、日本の炊飯器、台所用品、化粧品、医薬品、雑貨なども幅広くそろえています。シアトル店とビーバートン店では紀伊國屋書店も併設し、日系人のみならず、アジア系食材を求める米国人が多く来店しています（来店者のうちアジア系は約4割）。このような日系食材に理解のある客が来店する所で食品を紹介することによって、自社商品が米国の顧客にも受け入れられるか、また、来店者とのコミュニケーションによって、どのようなものが好まれるか、買ってもらえる商品にするにはどうすればよいかのヒントを得るなど、テストマーケティングの機会としてフェアを実施することとしました。

(2) 商談会の開催

まずは、フェアに出展する商品を選んでもらう商談会を2019年3月に神戸で開催することとし、ひょうご海外ビジネスセンターや県消費流通課、神戸市農水産課等の協力を得て、18年12月から参加企業を募集。宇和島屋の食品バイヤーとビーバートン店食品部門マネージャーを招き、3月22日に日中は12社との商談会、夕方から場所を変えてバイヤーによる米国流通事情のセミナーと追加商談会を約40名の参加の下、実施しました。翌日は、バイヤーを「コープこうべ」や



神戸でのバイヤーによる商談の様子

「ひょうごふるさと館」に案内し、参加企業以外の商品で宇和島屋での販売に魅力的なものがないかも探してもらいました。商品は全て宇和島屋による買い取りとなります。

(3) ひょうご神戸フェアの開催

この結果、最終的に18社の商品が取り扱われることとなり、9月25日～10月1日の1週間、ビーバートン店でフェアが開かれました。同期間中、商品はビーバートン店だけでなく、シアトル、ベルビュー、レントンの店舗でも展示販売されました。また、出品企業のうち11社は日本からスタッフを派遣して、9月27日～29日の週末3日間、店頭での試食販売のキャンペーンを行いました。

3日間で約6,800人が訪れ、店頭での試食販売には行列ができるほどの大盛況となり、来訪企業からは「予想以上に反応が良い」「店頭でお客様の反応に接することができたのが有益だった」等の感想がありました。

なお、来訪企業には宇和島屋でのフェア参加のほか、当事務所でオリエンテーション、オレゴン州食品関連ビジネス視察ツアー（ヨシダソース工場見学と吉田潤喜会長のセミナーなど）、ひょうご神戸の日本酒ペアリングディナー（和食レストランでの兵庫の酒と食をテーマにしたイベント）、最終日懇親会をオプションツアーとして企画し、米国での食品市場について、より深く理解してもらえるように努めました。

米国の食品輸入基準はアジア諸国に比べて数段厳しいですが、今後、多くの兵庫の食品企業が米国へも進出されることを期待しています。当事務所としても出来る限りお手伝いしてまいります。



乾物コーナーではふりかけの試食も



はばたんも登場して子どもたちに大人気

兵庫県ワシントン州事務所 (Hyogo Business & Cultural Center)

TEL +1-206-728-0610 E-mail office@hyogobcc.org

神戸シアトルビジネスオフィス (Kobe Trade Information Office)

TEL +1-206-622-7640 E-mail info@cityofkobe.org

【県市同室】 1001 4th Ave., Suite 4310, Seattle, WA 98154, U.S.A